

# すがすがしさとというモチベーション

もっと早く取り組みたかったのですが、昨日になってしまいました。作業範囲が広いので、一日ではやり切れません。来週も時間を見つけて取り組みようと思います。

最近、徒歩で登校する生徒たちが、涼を求めて「こもれびの森」のベンチに腰かける姿を何度か見かけました。しかし、足下（あしもと）の芝生は伸び放題。雑草もかなり混じっています。その生徒たちに少しでも気もちのよいひとときを提供するために、早く芝刈りをしなければと思っていました。

一年ぶりに芝刈り機を引っ張り出して、早速走らせました。うっそうと茂った芝でしたが、機械が通った後はきれいに芝が刈りそろえられ、すがすがしい緑のジュータンが現れました。機械音がさまざまいですし、草刈り機の取り回しも決して軽くないので、端から見ると大変そうに見えます。したがって、多くの人の目には、「面倒くさい作業」として映っていることでしょう。

しかし、やっている側は全くその逆です。着替えて、準備して、刈って、集めて、処分して……と考えると面倒くささを感じますが、それを全部帳消しにしてくれる光景がその後待っています。汗を流した分だけの見返りが光景となって脳裏に焼き付くので、暑くてもきつくても、「もうこりごり。二度とやらない」とはなりません。

今の時期、どこに行っても草刈りに精を出している人を見かけますよね。「刈ったって、また生えるのに、よくやるなあ」と思った人はいませんか。実は、そう思う人たちにはわからないモチベーションが、草刈りに取り組む人たちにはあります。理屈ではありません。刈った後のすがすがしさが、そのモチベーションになるのです。

芝刈りや草刈りだけではありません。掃除も、洗濯も、部屋の模様替えも、グラウンド整備やコート整備も同じです。汚れたり乱れたりするからやるのです。そして、何度も何度もすがすがしさを感じることで、自分の充実感や価値感が高まっていきます。

火曜日の一時間目と水曜日の一時間目の黒板を比較してください。きれいに掃除された後の火曜日の黒板、消した跡やチョークの子が散乱している水曜日の黒板、どちらが気持ちよく授業に取り組めますか。生徒だけではなく、職員もぜひ考えてみてください。黒板を使うのは、むしろ教師ですからね。

「こもれびの森」の芝がすっきりすると、すがすがしさを感じます。そのすっきりした芝の中で、生徒たちがおしゃべりしたりのんびりしたりしてくれれば、うれしさを感じます。そのためには、早く全面刈ってしまわなきゃね！（六月四日 記）